

消防災第183号
平成19年5月7日

各都道府県防災担当部長 殿

総務省消防庁国民保護・防災部防災課長

緊急地震速報に関する周知・広報について（依頼）

緊急地震速報は、気象庁が、震源に近い観測点で得られた地震波を使って、震源、地震の規模及び各地の震度を秒単位という短時間で推定し、放送、電話回線、衛星通信等の伝達手段により発表し、主要動（大きな揺れ）の到達前に利用者に提供されることを目指すものであり、震源に近い地域では、情報が強い揺れに間に合わない等の技術的限界のほか、発表時に利用者がとるべき行動等について十分な理解が得られていないと利用者に混乱をきたす恐れがあるという課題もあるものの、主要動が到達する前に身の安全を図る等の適切な対策をとることができれば、地震被害の大幅な防止・軽減が可能となるものであり、広く一般の利用に供するに当たっては、それらについて十分な周知を行うことが必要であるとされています。

既に一部公共交通機関、ライフライン事業者等で先行運用が開始されており、今後、テレビ、ラジオ等を通じた一般国民向けの提供が予定されているところですが、去る3月20日には、中央防災会議において、会長である内閣総理大臣より各省庁に対して利活用方策の検討及び政府一体となった国民への普及・啓発の取り組みについて協力するよう指示があったところです。

総務省消防庁においては、気象庁より地方公共団体及びその住民に対する周知・広報を円滑に行うため、協力を求められているところです。

これについて、今後、気象庁の各气象台等から各都道府県防災担当部局に対し、住民への周知・広報に関する協力依頼がある予定ですので、ご協力をお願いします。

この際、貴都道府県におかれましては、別添リーフレット「緊急地震速報～この秋スタート～」のほか、別紙に掲げている資料等を参考に、緊急地震速報に関する理解を深めるとともに、必要に応じて、その普及・啓発に努められますようお願いいたします。

また、貴都道府県管内の市町村に対しても、この旨周知していただくようお願いいたします。

担 当	震災対策専門官	中地
	震災対策係長	嶋田
電 話	03 - 5253 - 7525	
F A X	03 - 5253 - 7535	
E-mail	t.shimada@soumu.go.jp	

＜参考となる資料＞

1 概要説明資料

「緊急地震速報とは」

(http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/Whats_EEW.html)

2 リーフレット

「緊急地震速報をご存知ですか？」（気象庁発行・平成18年度版）

(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/sokuho/index.html>)

「緊急地震速報のリーフレット」（（財）気象業務支援センター発行）

(<http://www.bousai.go.jp/jishin/eew/dailkai/leaflet.pdf>)

3 一般向け資料

「一般向け緊急地震速報の利用の心得」

(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/kokoroe.pdf>)

4 施設管理者向け資料

「集客施設における管理者の対応例」

(<http://www.bousai.go.jp/jishin/eew/dailkai/20070328siryo3taiorei.pdf>)

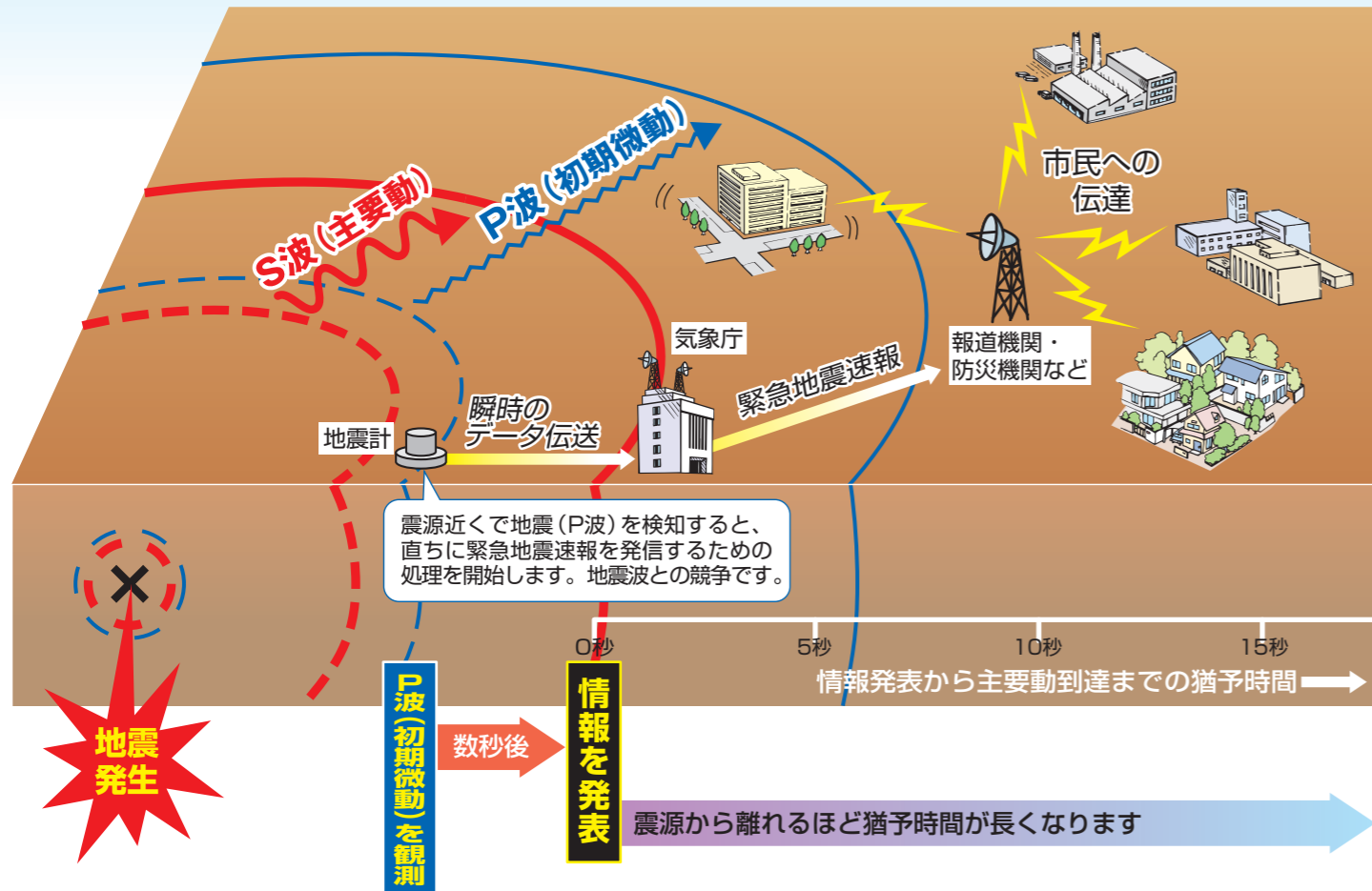
5 利活用のための事例集

「緊急地震速報の利活用事例」

(<http://www.bousai.go.jp/jishin/eew/dailkai/20070328siryo2rikatsuyou.pdf>)

緊急地震速報のしくみ

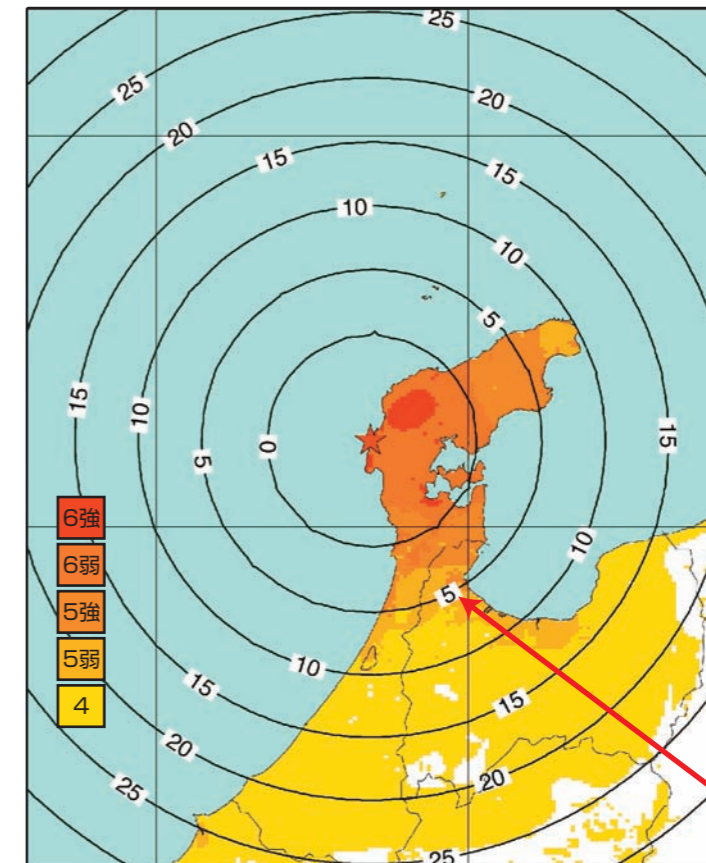
緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域の名前を強い揺れが来る前にお知らせするものです



- 「緊急地震速報」は、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します
地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、素早くお知らせします
- ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります

緊急地震速報

この秋、スタート



緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前にお知らせすることを目指す新しい情報で今年9月頃から提供を開始する予定です

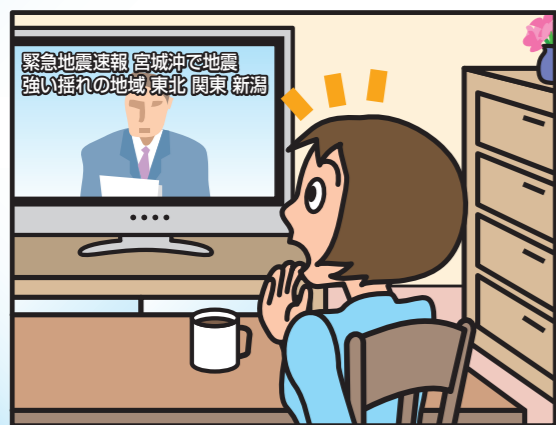
平成19年
国土交通省
気象庁

「緊急地震速報」についてのお問い合わせ先
気象庁地震火山部管理課
〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号
電話：(03) 3212-8341 (代表)
気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>
緊急地震速報について
<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

※緊急地震速報は、独立行政法人防災科学技術研究所による技術開発の成果と、財団法人鉄道総合技術研究所と気象庁による共同技術開発の成果により、可能となりました。



家庭では 頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる
あわてて外へ飛び出さない



人がおおぜいいる施設では
係員の指示に従う
落ちついて行動
あわてて出口に走り出さない



自動車運転中は
あわててブレーキをかけない
ハザードランプを点灯し、
揺れを感じたらゆっくり停止

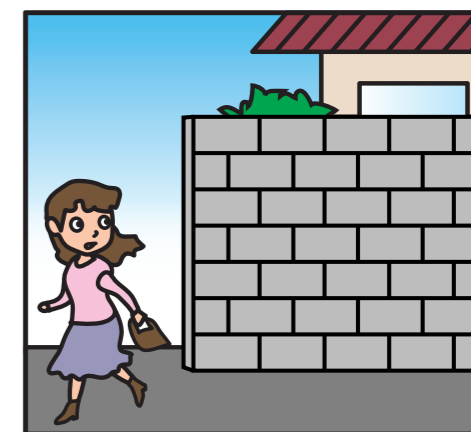


緊急地震速報「利用の心得」

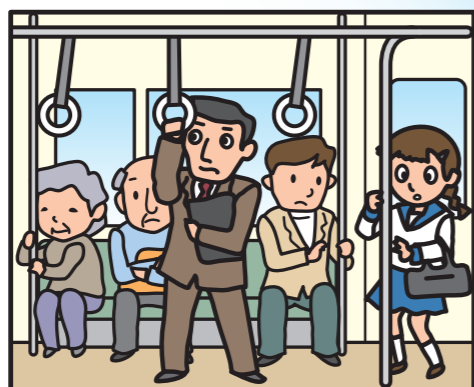
**周囲の状況に応じて
あわてずに
まず身の安全を確保する！**

緊急地震速報は見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません
その短い間に身を守るための行動を取る必要があります

屋外(街)では
ブロック塀の倒壊等に注意
看板や割れたガラスの落下に
注意し、ビルのそばから離れる



鉄道・バス乗車中は
つり革、手すりに
しっかりつかまる



エレベーターでは
最寄りの階で
停止させすぐに
降りる



山やがけ付近では
落石やがけ崩れに注意

